

第5号議案

スイッチング支援システムの変更契約の締結について (案)

スイッチング支援システムについては現在テスト作業を行っており、2016年3月より本番環境の運用を開始する予定である。テスト作業において、仕様齟齬とレスポンスに関する2点の課題が発生したため、システム仕様の一部を変更し、株式会社エヌ・ティ・ティ・データとの契約について、別紙2のとおり変更契約を締結したい。

1. 変更契約書

別紙2のとおり

2. 契約先

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

以 上

【添付資料】

別紙1：スイッチング支援システムの変更契約の締結について

別紙2：変更契約書（案）

スイッチング支援システムの変更契約の締結について

2015年12月9日

電力広域的運営推進機関
総務部 情報システムグループ

スイッチング支援システムのテスト状況と課題について

2

■ スwitching支援システムのテスト状況

テスト概要	総項目数	消化件数(実績)	残課題
システムテスト（シナリオテスト/サイクルテスト/モンキーオペレーション/性能試験/信頼性試験等）	962	962	1
OAシステムとの連携テスト	55	55	1

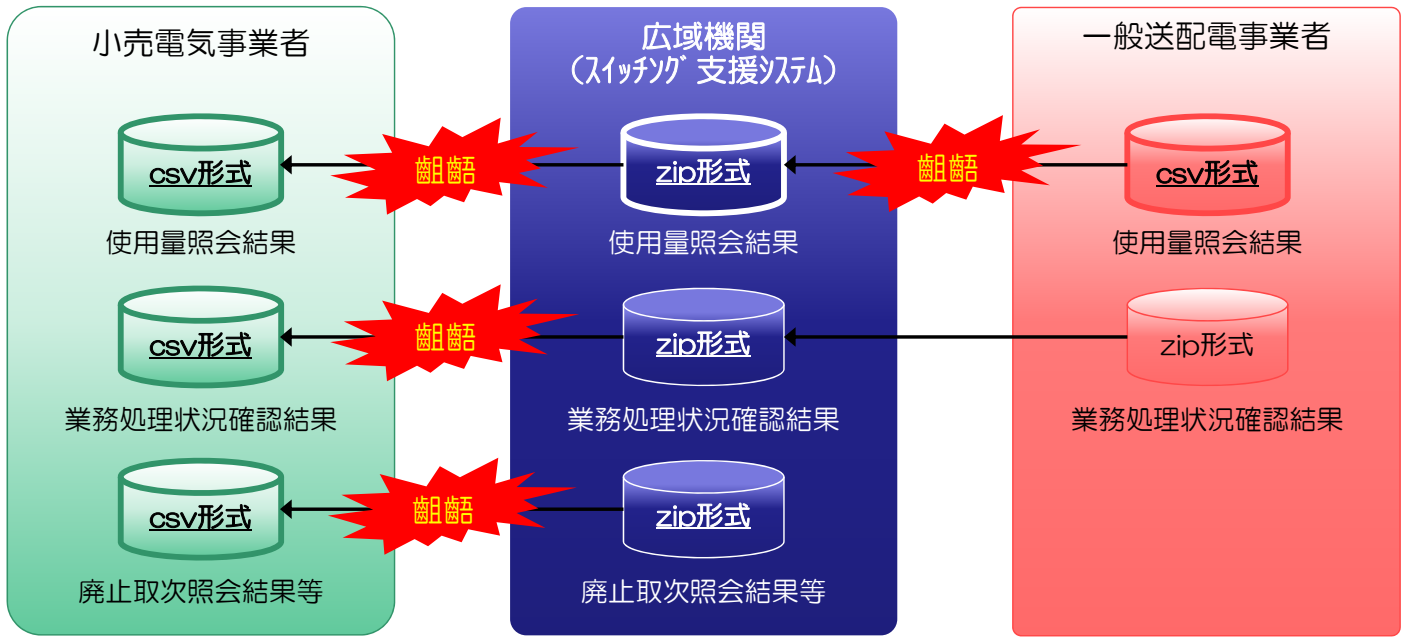
■ テスト結果による課題は以下の通り

スイッチング支援システムのテスト実施中において、以下の不具合が判明したため、NTTデータと協議の結果、仕様変更にて対応することとしました。

- ①API機能における添付ファイル形式の外部仕様書と内部設計の齟齬
- ②Web画面でのキャッシュ設定変更における機密情報のセキュリティ

変更までの経緯、変更内容については、次ページ以降で説明します。

一般送配電事業者側がAPI機能で返却する添付ファイルは、全てzip形式にて内部設計していたが、小売電気事業者向けに開示したインターフェイス仕様書中にはzip形式で返却することが明記されていないため、小売電気事業者側では、csv形式で受け取る機能で構築している。また、一部当方と一般送配電事業者間でも齟齬が判明した。



そこで、小売電気事業者にcsv形式で返却する機能に仕様変更する。ただし、その場合、ネットワーク上の通信量が肥大化するため、希望する小売電気事業者向けにはzip形式の選択も可能とするよう、仕様追加も行う。

また、一般送配電側でzipで返却されるファイルをcsv形式で返却するよう仕様変更する。

